

# サステナブルファイナンスの取組みの全体像①

取引先に係る排出量など、気候変動等に係るデータの重要性

## アセットオーナーの取組み強化

諸外国と比べたアセットオーナーの取組みに課題があるか

## ESG投資情報の集約・可視化

- JPX「情報プラットフォーム」の立上げ〔年央目途〕
- 併せて、企業データの集約や、ESG債の適格性に関する認証枠組みについても、検討
- ソーシャルボンドの社会的効果(インパクト)を測定する「指標集」案を公表〔年央目途〕

## 企業開示の充実

- IFRS財団での議論に積極的に参画
- 気候変動対応等に関する開示の充実に向けた方策(記載欄の設定)をとりまとめ〔今春〕

社会的事業



企業



アセットオーナー



投資家



資金の提供



設備投資等



グリーン



トランジション



ESG評価機関



資産運用会社



市場全体に係る横断的取組



投融資先支援



金融・産業双方で「トランジション」に向けた計画策定・対話

専門人材



インパクト



テック企業



専門人材の育成

インパクト評価

スタートアップや創業への支援

## ESG評価機関・投資信託

- ESG評価機関の行動規範を策定〔今夏〕
- ESG投信を取り扱う資産運用会社に対する期待を公表〔5月目途〕

## 金融機関と企業の対話促進

- 金融機関向けの気候変動対応のガイダンス案を公表〔4月〕
- GXリーグと連携し、ネットゼロトランジションに向けた企業との対話を促進し、金融・産業での目標設定などの取組み支援

(注) GXリーグ: 脱炭素に挑戦する企業が、カーボンプレジット市場の整備も視野に官・学・金と協働する場として、経産省が設立予定。3月末まで賛同企業を募集し、440社が賛同。

脱炭素等に資するテック等の重要性

ニーズの高まり等を踏まえた人材育成への取組強化の重要性

国際的なネットゼロに向けた議論も踏まえた対応の重要性

# サステナブルファイナンスの取組みの全体像②

2022年1～3月

4～6月

7～9月

10～12月

開示の充実

東証プライム市場上場企業に対して、TCFD又はそれと同等の国際的枠組みに基づく開示の質と量の充実

サステナビリティに関する開示の充実に向けた方策の取りまとめ

関連法令の整備、SSBJにおける議論の後押し

国際会計基準(IFRS)財団における気候変動を含むサステナビリティ開示の枠組みの策定の動きに、日本として積極的に参画

市場機能の発揮

アセット  
オーナー

情報の集約  
可視化

JPX検討会  
中間報告書

グリーンボンドガイドライン等の改定

情報プラットフォームの構築・サービス提供開始

データや認証枠組み等につき継続検討

ESG  
評価機関

ESG評価・データ提供機関等に係る専門分科会において、  
評価機関の行動規範・企業・投資家含む課題を検討

行動規範の策定

行動規範に賛同の呼びかけ

資産運用  
用会社

ESG投信の実態調査を実施

資産運用会社に対する  
期待の公表

資産運用会社における取組状況のフォローアップ

ソーシャル  
ボンド

ソーシャルボンドの社会的効果を測定する「指標集」案を公表

指標集を含む「ソーシャルボンドガイドライン」の  
普及

機能発揮の  
金融機関の

シナリオ分析のパイロットエクササイズの実施・公表

ESG地域金融促進事業

パイロットエクササイズで特定された課題について、金融機関と議  
論し、シナリオ分析の手法・枠組みの見直しを検討

金融機関向けの気候変動対応ガイダンスを策定・公表

排出量の計測支援事業

金融機関の気候変動対応の取組状況や課題について対話の中で  
把握

GXリーグと連携し、ネットゼロトランジションに向けた企業との対話を促進し、金融・産業での目標設定などの取組み支援

横断的施策

トランジション

分野別ロードマップ

GXリーグ構想の実現に向けた検討

カーボンプレジット検討会

ネットゼロに向けた目標設定等に活用し得るロードマップを定量化した計量モデル

専門人材

インパクト

フェーズⅠ  
(基本的手法等)

フェーズⅡ  
(アセットクラス毎の事例分析を通じて、実務の深化を支援)

テック